

「省エネ市民会議」					
会議年月日	21年11月6日	時間	13:30 ~ 16:00	場所	流山市生涯学習センター(3F)
出席者	馬渡、新田、山田、新美、大前、日比野、塩幡、春田(記) (ホワイトボードに向かって時計回り順に記載、敬称略)				
議 題					
1、CO2を25%削減するためのライフスタイル(全員)					
・車を廃車した生活スタイルを考える。					
・省エネ家電、太陽光発電など設備投資が必要となる。					
・環境家計簿が必修となる生活スタイルとなる。					
・断熱、蓄熱を考え自然な生活スタイルに(新美さんのメモ添付)					
・あまり深刻に考える必要は無い?(CO2排出係数の改善を求める)					
2、改正省エネ法の解説(新美)					
全事業場を合わせたエネルギー使用量が原油換算で1,500klを超える企業には、					
2009年度のエネルギー使用量の把握と、2010年度から毎年の届け出の義務付け、					
努力目標として年平均1%のエネルギー消費原単位の削減が求められる。					
改正法は、産業部門に加え、オフィスやコンビニなど業務部門においても対策強化を狙ったもの。					
3、その他					
・11月14日、横芝光公民館にて日比野さん講演する(大前)					
・11月26日、CO2CO2ダイエットコンテスト千葉県代表選考会への出席依頼(新田)					
・温暖化問題の啓発活動は地域を問わず情報交換や問題点の議論を深める必要がある。					
特に千葉県は近隣より遅れ劣っている。解決策として、県議会議員等と懇談し					
進展させる場づくりから取組もう。先ず相応しい議員をアタックしよう(日比野)					
4、次回の予定					
・日時 = 12月11日(金曜日)13:30 ~ 15:30					
・場所 = 生涯学習センター(3F)第4会議室					
・内容 = カーボンオフセットについて(春田)					
LED照明の課題(平手)					
各自治体の温暖化対策助成制度の内容(金額)について(日比野)					
各人も近隣自治体内容を調べて持ち寄る(全員)					
以上					

'90年比でCO2を25%削減するためのライフスタイル

2009.11.06 省エネ市民会議 新美健一郎

【心掛け・背景編】

- ・CO2増加などの環境問題を生じさせた原因を自分で考える。
- ・常なる心掛けと**実行・実行・実行・実行・実行・実行・実行**・・・。
- ・実行しなければわからないこといっぱい。
- ・今の人は過去にエネルギーを使い過ぎた。次世代へ反省と償いを。
- ・質素な生活。 / ・家庭（家族）教育。
- ・教育への参加。特に公教育＝基礎教育への関心と参加。
- ・科学や理科のお勉強。市民科学の普及／大人の科学。
- ・地域力の向上／自治会機能の充実。
- ・市民活動の掟と市民力アップ。
- ・他人に言う前に自分でやってみる。
- ・できるだけ自由な立場で考える。
- ・官製資料の見方（市民の生活実態を知って作ったか）
- ・テレビをできるだけ見ない。その分考える楽しさに。
- ・寒さ暑さに負けない健康の維持管理。
- ・暗くなったら寝る／明るくなったら起きる（自然な生活）
- ・買い物は地元優先。 / ・マスコミにも注意。

【中間編】

- ・情報の共有。
- ・基本は、節約・省エネ・創エネ・エネルギー自給。
- ・厚着と薄着／住宅も同じ／昔は夏を旨とした住宅で良かった。
- ・冷気を入れない（針の穴から棒の風）／熱気を入れない。

【インフラ・政策編】（政権交代、平成維新に乗る？）

- ・無理のない自然エネルギー普及政策（四国の構原^{ゆすはら}町事例）
- ・自転車道や歩道の整備。
- ・環境税（排出温室効果ガス量に応じた）
- ・環境教育のシステム化（行政と市民の協働）
- ・社会人教育（サラリーマンOBを対象）

【具体化編】

- ・設備更新やリフォームに合わせた省エネ機器・発電機器の導入。（時間と費用がかかる→市民負担→費用の少ない施策）
- ・住宅の「**ダンネツ**」。
玄関などの出入口、窓、壁、天井裏、床下、屋根、配管・コンセント
- ・断熱と換気の診断。
- ・風通しの良い家。
- ・太陽熱利用
- ・「**蓄熱**」＝保温（自然エネや深夜電力）／事例：エコキュート
- ・高効率ヒートポンプ機器類に注目。
- ・DIYで実行。
太陽エネルギー利用(熱と電気)／ミニ風力発電（例：ハブ発電）
ミニ水力発電（農業用水など利用の昼夜安定した発電）
- ・マイカーのエコ化・電気化。
- ・農的体験学習(＝環境教育)の必修（埼玉県の学校農園普及事例）
- ・さらなる省エネ型照明器具普及。
- ・新エネファンドへの投資（設置できないが、お金はある方）
- ・
- ・
- ・

【参考編】

- ・ロッキーマウンテン研究所（エイモリー・B・ロビンズ博士）
電気代：5ドル／月（真冬、標高2200m）
- ・小宮山エコハウス（三菱総研理事長、元東大総長）
10年間データ比較で、消費エネルギーを80%減。
- ・新美宅のCO2削減実態（'07年／'09年比：別紙添付）
オール電化で37%減、太陽光発電を含めると68%減。

以上。

	オール電化【前】(2006年7月～2007年6月)	オール電化【後】(2008年7月～2009年6月)
kg-CO ₂	<p>温室効果ガス排出量の推移</p> <p>年間通算：5,124 kg-CO₂</p>	<p>温室効果ガス排出量の推移</p> <p>年間通算：3,207 kg-CO₂ CO₂低減率：37%</p>
費用	<p>光熱水費の推移</p> <p>年間通算：350,069 円</p>	<p>光熱水費の推移</p> <p>年間通算：246,322 円 差額：103,747 円</p>

【同一期間の太陽光発電実績】総発電量：4,099kWh* / 売電量：2,834kWh / 売電金額：79,656 円 (購入電力料金総額：98,483 円)

*：この値を在来発電方式による CO₂ 発生量に換算すると 4,099×0.38=1,558kg-CO₂ となり、それを加味すると CO₂ 低減率は 68%。